

平成20年度理学研究科（博士前期課程）修了予定者アンケート

理学研究科では、平成21年1月14日から2月27日にわたり平成20年度理学研究科（博士前期課程）修了予定者を対象に大学院生活全般に関するアンケートを実施した。

「Ⅰ分析と今後の教育へのフィードバック」は例年は理学研究科学務委員が作成していたが、大学院修了生の数は学部卒業生と比べ大幅に少ないため、講座ごとの分析は不適当と思われ、本年度は理学専攻学務委員長が作成することにした。「Ⅱ集計結果」は例年通り理学部大学点検評価委員会が受け持った。なお、本年度は手違いにより情報科学講座の修了予定者へのアンケートが実施されなかった。このようなことは今後起こらないように十分注意したい。

Ⅰ．分析と今後の教育へのフィードバック

満足できたものとしてもっとも多かったのが、「研究室での研究やゼミ」(78%)で、「先生との出会い」(67%)、「友人との出会い」(61%)、「修士論文」(48%)と続く。一方、満足できなかったものは、「授業」(29%)がもっとも多かったが、一方で「大学院の授業は満足できるものでしたか」という質問に対して、「満足できた」および「満足できる授業が多かった」を合わせると80%になり、必ずしも不満があるというわけではなさそうである。また、満足できなかったものを問う質問に対し回答したものも54人38人と少なく、全体として満足できなかったものは多くなかったのではないかと推測する。

教育研究施設に関しては76%が「満足できた」または「ほぼ満足できた」と答えている。自由意見の中に、改修工事中による不満が目立つ。改修により今後の教育研究環境が良くなることが期待できるが、改修が修了年度と重なった学生にとっては申し訳ないことであったと思う。

就職支援活動は76%が「満足できた」または「ほぼ満足できた」と答えている。ボランティア活動については、9%が参加したのみであった。

自由意見の中に、「学会に参加する費用を大学に負担してもらいたかった」というものがあつた。学生の研究発表に対する支援を今後検討するべきであろう。

Ⅱ．集計結果

1. あなたの所属する講座を下記より選んでください。

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| A. 数理科学 | B. 情報科学 | C. 物質基礎科学 |
| D. 物質変換科学 | E. 生体機能物質工学 | F. 生物科学 |
| G. 地球史環境科学 | H. 防災科学 | I. 海底資源科学 |
| J. 植物分類・地理学 | | |

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

修了者数	8	12	15	13	7	11	6	4	1	-	77
回収件数	7	-	14	12	7	7	3	4	0	-	54
回収率(%)	88	-	93	92	100	64	50	100	0		75

2. 大学院での研究や生活で満足できたものを下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 修士論文(48%) B. 授業(19%) C. 研究室での研究やゼミ(78%)
D. 先生との出会い(67%) E. 友人との出会い(61%) F. 課外活動(22%)
G. その他(2%)

- ・ 学会発表

3. 大学院での研究や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 修士論文(11%) B. 授業(29%) C. 研究室での研究やゼミ(5%)
D. 先生とのトラブル(5%) E. 友人とのトラブル(11%) F. 課外活動(26%)
G. その他(21%)

- ・ 大学内の改装工事による騒音
- ・ 満足のいくデータばかりではなかった
- ・ 引っ越し
- ・ 就職活動

4. 大学院の授業は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた(26%) B. 満足できる授業が多かった(54%)
C. 満足できる授業が少なかった(19%) D. 満足できなかった(2%)

ご意見があればお書きください。

- ・ 改修工事は長期休養中にするべきだと思います
- ・ プレゼンが中心の授業が多すぎると思います
- ・ プレゼンテーションを盛り込んだ授業は、学会発表や就職活動などに役立って良かったと思います。実験や実習も授業として開講してほしかった。(他分野の研究に対する理解も深まると考えるので)
- ・ プレゼンテーションの機会が授業であり、自分の研究についてより知ることができた。他の人の研究の概要も分かり、興味深く楽しかった。
- ・ 適当な授業と興味をひきつける授業の差が大きい。授業料を払う身からすると、考えさせられる所がある。
- ・ もう少し、カリキュラムを充実させてほしかった。
- ・ ありがとうございます。

5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた(25%) B. ほぼ満足できた(51%)
C. あまり満足できなかった(15%) D. 満足できなかった(9%)

ご意見があればお書きください。

- ・ 院生室において、ブラインドが壊れたままだった。
- ・ 工事中だったため、使用しにくかった。
- ・ 途中、耐震工事で研究室の移動があったのが大変だった。
- ・ NMR を新しくしてほしい。
- ・ ちょっとガタがきているのでそろそろ替えどきではないかと思う。そんなに簡単に買える品ではないのは承知ですが、お願い申し上げます。
- ・ 工事がもっと早ければよかった。
- ・ 工事、引っ越しへのフォローはもっとしっかりしてほしい。
- ・ 部屋が狭い。標本を置くスペースがない。トイレがない。手抜き工事。床がでこぼこ。壁はヒビだらけ。まったく満足できなかった。
- ・ 引っ越し等で負担が大きかった。コロコロ日程が変わって振り回された。
- ・ 引っ越しによって施設の利用が制限されたことで、少なからず研究に影響が出ました。
- ・ 理学部 1 号館の改修工事に伴い、引っ越しを迫られ、研究施設が不十分な環境となった。
- ・ 研究棟改修工事のため、引っ越しを余儀なくされて若干の支障が生じたため。
- ・ 総合棟の電気の自動システムが非常に不便だった。

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた(24%) B. ほぼ満足できた(52%)
C. あまり満足できなかった(16%) D. 満足できなかった(8%)

ご意見があればお書きください。

- ・ 就活中は電車での移動が多くなるので、学割がもう少し欲しかったです。
- ・ 進学希望なので関わりがなかった。
- ・ 就職担当の先生や、就職室の人々がよくサポートして下さったので、満足しています。
- ・ すごく親身に相談に乗っていただき、非常に助かりました。もう少し遅い時間まで開いているともっと活用できたかと思います。
- ・ 就職関係は高知大の取り組みが素晴らしいと思う。
- ・ できれば院生の就職活動に特化した支援活動もしてくださるとうれしかったです。
- ・ 合宿面接はとても満足でした。
- ・ 大学側から様々なサポートがあり助かりました。
- ・ ぜひ続けてください。

7. 大学院在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

- A. ある(9%) B. ない(91%)

8. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

- A. 満足できた(80%) B. ほぼ満足できた(20%)
C. あまり満足できなかった(0%) D. 満足できなかった(0%)

- ・ ボランティア活動の存在自体知らなかった。

9. 理学研究科の教育研究全般について、意見があれば書いてください。

- ・ 昨年、某大学院大学を見学させてもらう機会があったのですが、そこでは M1 はとにかく勉強メインで基礎力をつけることができました。大学院は専門知識をつけるための場所で、研究活動が重要なことは理解していますが、M1 のときにもっと授業を受けることができる（授業数を増やす、実験を組み込むなど）システムを導入してはどうでしょうか？
- ・ 指導教官の熱意の差が大きすぎる。教育者ということを、研究者の前に自覚すべきである。学英は生活の上に立っている。すべてを研究に注ぐことは無理がある。それを、自分のためだと強要することはすべきでない。企業や会社の役員のように夜遅くまでいて、見返りのない状態が続くと、精神崩壊をおこす。つまり、卒業研究に対する評価をなおすべきだ。コア time をつくる。出席を毎日とる。一年間に 2, 3 回の研究評価をつける機会を設ける。時間を決める等。教官によっても、生徒に対する接し方が違う。生徒の意見を間違っていると頭ごなしにしっかりつける（専門の内容以外のこと）。生徒は自分の意見を言う機会をなくす（どちらが子供か分からない）。気

分で授業の内容・評価を考えるのはありえない。改善すべき点 1. 1 度、教育者の教官をつくること（指導すべきだ） 2. 卒業研究の評価を見直すべきだ。人によっても内容の量、質が違うのに評価は同じとははなはだしい。 3. 専門職につかないのであれば、卒業研究を行うかどうか、選択させるべきだ。専門職を目指す者にとってはモチベーションが下がる。 4. 生徒への指導を適格に。毎日、しっかり大学に来ることをうながすべきである（生徒が甘えている部分があるのも、教官の方々には申し訳なく思う）。 5. 授業料にみあうだけの授業の質・量はない。研究にししょうをきたす。 6. 生徒も、もっと意欲を出すべきだ。能動的に物事を進める。以上。さらに、大学の発展、教育の向上に期待しあえて厳しい意見を申し上げた。なまいきかもしれないが、高知大は良き大学だと総合的に評価できる。今後もすばらしい人材を輩出できることを願っている。

- ・ せめて学会に参加する費用（旅費等）を大学に負担してもらいたかった。授業料とは別に払わなくてはいけないのがとても大変で、研究の妨げになりました。
- ・ キツかった。
- ・ 6 年間お世話になりました。戸惑いも多かったですが、それ以上にとても楽しい 6 年間でした。ありがとうございました。
- ・ セミナーや授業がありすぎて、研究に集中できないときもあった。（特にゼミが週に 3 つのときが・・・）